

崩壊遅延防止ソフトカプセル

ソフトカプセルの皮膜を体内できちんと崩壊させ、有効成分の効果を担保する技術です。



特 徴

- ソフトカプセルのゼラチン皮膜は、内容物等の影響により経時で溶けにくくなることがあります(崩壊遅延)。崩壊遅延が発生すると、有効成分が体内に吸収されず、効果が十分に発揮できない可能性があります。
- 独自技術として、皮膜に『リンゴ酸』を配合することで、崩壊遅延を防止できることを見出しました。

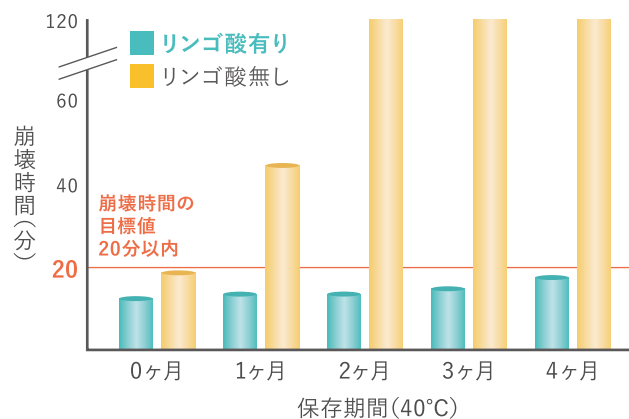
活 用 例

- ビルベリーなどのポリフェノール類
- DHAやEPAを含有する魚油
- ビタミンCを含むマルチビタミン
- 黒酢や酵素などの発酵エキス etc.

ソフトカプセルの崩壊試験

ビルベリー+DHA

- ・試験サンプル:内容物にビルベリーとDHAを含むソフトカプセル/40℃保存品(最大4カ月)で、皮膜にリンゴ酸を配合したものとしていないものを比較
- ・試験法:日局18改正崩壊試験法に準拠
- ・目標値:20分以内に崩壊



40℃・4カ月保存品の崩壊試験の様子。